

ダルニー奨学金 貧困家庭の子どもの中学進学を支援

タイへの寄付金は年々減少 1500人分が不足



タイでの奨学金事業を担当するアマチャートさん(右)とシリラックさん(EDF 事務局で)

公益財団法人・民際センター（秋尾晃正理事長／東京都）が運営する国際教育里親システムである「ダルニー奨学金」。タイでは財団法人・地域開発教育基金（EDF）に事務局が置かれている。同奨学金は、貧困により中学進学が危ぶまれる生徒に年間 2000 バーツの寄付で1年間勉学の機会を与えるというもの。1年間のみの支援も可能であるが、一人の生徒を入学から卒業までの3年間継続して支援することもできる。「里親」には支援している生徒の情報（写真も）、生徒には「里親」の名前が送られるため、1対1の顔の見える教育支援となっている。

これまでに40万人を超える子どもたちの中学就学を実現させてきたが、タイ向けの奨学金および寄付者の数は年々減少傾向にある。1988年から2018年までの期間、最も寄付者が多かったのは2001年で8596人。その後、前年割れが続き、18年は2879人にまで落ち込んでいる。

この背景にあるのがタイはすでに裕福であるとのイメージだ。ただ、経済発展により貧富の差は拡大。都市と地方の地域格差も広がる一方だ。しかし、政府の目は高等教育の充実に向けており、貧困により教育の機会を失いつつある子どもたちまでは十分に手が回っていない状況だ。

タイ政府は、幼稚園から高等学校まで15年間の教育無償化を進めているが、実情は学校により異なる。支給されるのは制服代のみで、体操服、ボーイスカウト・ガールスカウトのユニフォーム、靴などは保護者負担となるケースが少なくない。奨



奨学金を受け充実した学校生活を送る子どもたち

【第5面に続く】



弊社バンプリ地区倉庫に加え、レムチャバン地区新倉庫にて
医療機器品質マネジメント「ISO13485」取得。
QMS対応倉庫として医療機器保管に最適。



工業省規定に準拠した危険品保管設備

危険品倉庫面積

レムチャバン地区	2,528㎡ (内、定温庫 455㎡)
バンプリ地区	4,000㎡ (内、定温庫1,000㎡)
バンナ地区	4,800㎡ (内、定温庫1,050㎡)

タイエネルギー省／潤滑油ライセンス対応の新倉庫オープン！



- バンナ20kmすぐ
- 潤滑油ライセンス保有
- 保管面積 7,820㎡



Suzuyo (Thailand) Ltd. Suzuyo DistributionCenter(Thailand)Ltd.
2922/260 New Petchaburi Rd.,Bangkapi,Huaykwang, Bangkok 10310, Thailand
E-mail: info@suzuyo.co.th
Tel:02-716-5380
久保木／タイ語担当: Jantana (Ms.)



【第4面から続く】

学金を受けている生徒ですらそのすべてをまかなうことはできないという。タイの小学校就学率はほぼ100%、そしてほぼ全員が卒業している。ただその後、中学を卒業できるかどうかで人生の選択肢は大きく変わってくる。しかし、EDFに申請してくる奨学金希望者全員の希望を叶えることはできず、少なく見積もっても年間1500人分の奨学金が不足しているとのことだ。

企業CSRをコーディネート

少子高齢化、地方の過疎化が進むタイでは、小規模学校の閉校が増えている。その場合、都市部の学校に転校しなければならず保護者の負担増となる。自転車があれば通学時間を短縮できるが、貧困家庭にとり整備された自転車はぜいたく品だ。そこで、ブリヂストンタイランド社は2006年から13年にかけてCSR活動として、タイ東北地方20県の対象校に対し奨学金と自転車を寄贈した。

また、タイでは小学校1年から6年まで一人一食あたり20パーツの補助が提供されるが、食べ盛りの子どものとり決して十分な額ではない。しかも中学校に入ると補助がなくなる。このため、外部からの支援がない学校では、養鶏、魚の養殖、野菜・果物栽培などで対処するしかない。マテルインターナショナル社はこの昼食用食材をCSRとして支援した。

現在、約50社の在タイ日系企業がダルニー奨学金に寄付しているが、CSRは減っているとのこと。EDFでは企業がCSRとして小中学校などへの寄付を希望する場合にはそのためのコーディネートを行う。

なお、オフィスや店頭での募金箱もしくはパンフレット設置、企業主催のゴルフコンペでの寄付募集などもこれまでに複数の日系企業が協力している。(倉林義仁記者)

■奨学金・企業CSRについての問い合わせは下記まで。
(662)579-9209、(662)942-8538(日本語ライン)、
anuchath@edfthai.org 【担当：アヌチャート(日本語可)】

盤谷日本人商工会議所ニュース

流通小売部会・生活産業部会 タイ経済に関する講演会を開催



流通小売部会(若山昇部会長:イオンタイランド(株))と生活産業部会(鹿野剛志部会長:王子製紙(タイランド)(株))は9月25日に合同でみずほ銀行グローバルマーケット業務部の橋本紳一郎氏を講師に招き、「タイ経済とパーツ相場の見通し」を

テーマに講演会を開催。タイのマーケット動向、マクロ経済、経済関係トピックス、金融政策など、最新のタイ経済動向を様々な角度から解説を受けた。

テーマに講演会を開催。タイのマーケット動向、マクロ経済、経済関係トピックス、金融政策など、最新のタイ経済動向を様々な角度から解説を受けた。

バンコク日本人商工会議所三役 タイ政府要人を表敬訪問

仲野真司会頭(タイ住友商事会社)をはじめとするJCC三役は9月23~27日、アヌティン副首相兼保健相、サクサイアム運輸相、ウィサヌ副首相を相次いで表敬訪問し、新三役の紹介を行うとともに、竹谷厚経済調査会長(ジェトロ・バンコク事務所)から、2019年上期タイ国日系企業景気動向調査の結果を説明した。また、先日ソムキット副首相に提出したJCCからタイ新政府に対する要望書の内容について説明を行った。

中小企業を支える公的機関の

無料経営相談をご活用ください!

現地に精通した、経験豊かな相談員が、現地商習慣、法規制、税務・会計、法務に係る相談などに無料で対応します。都外企業やタイ企業にもご利用頂いております。

●ご相談例

- 自社で使用する金型の輸入・販売ライセンスはないが、輸入しなくてはいけなくなった…。手続きはどうすればいいの?
- タイ出張で年間180日を超えてしまい、タイの税務当局からは1年分の納税をするように言われたが、日本の本社側と意見が食い違ってしまい、何か良い方法を教えてほしい。
- 解雇した従業員から労働裁判の提起があった。今後の流れや対応策を教えてください。
- 税金の還付請求をしたのですが、還付されるまでに時間がかかりすぎて困っています。なぜこんなに時間がかかってしまうのか?良い対応策を教えてください。

相談時間 平日 13:00~17:00 (祝祭日、年末年始を除く)

- 相談日程
- 月 経営全般、税務、幅広い分野に対応
 - 火 タイの人事労務・紛争解決及びCLMの法務
 - 水 経営全般、サービス業・実務面に対応
 - 木 税務・会計面、経営全般に対応
 - 金 経営全般、経営戦略・財務に対応

相談員



梅木 英樹 Hidetoshi Umeki | 中尾 英明 Hideaki Nakao | 森山 太郎 Taro Moriyama | 吉越 康朗 Yasuro Yoshikoshi | 藪本 雄登 Yuto Yabumoto | 倉地 準之輔 Junnosuke Kurachi | 佐藤 洋史 Hiroshi Sato

●経営相談以外の事でもお気軽にご相談・ご利用ください。

- マッチング支援
- セミナー開催
- 交流会開催
- 商談ルーム提供
- 現地情報提供

(公財) 東京都中小企業振興公社タイ事務所
20 Floor Interchange21 Bldg, 399 SUKHUMVIT ROAD, KLONGTOEY NUA, WATTANA, BANGKOK 10110 THAILAND

●まずは右記のいずれかの方法で、お気軽にお問い合わせください。
WEBサイトのお問合せフォームから <https://www.topics.tho.tokyo-trade-center.or.jp/jp/contact/>
電話 +66(0)2-611-2641 | Eメール thai-branch@tokyo-kosha.or.jp